



東日本大震災からの記憶

～1000年に一度の災害は、1000年に一度の学びの場～
南三陸ホテル観洋 女将 阿部憲子



2011.3.19 撮影

自然の家

戸倉地区波伝谷

戸倉中学校

南三陸ホテル観光

新漁港

旧漁港

町役場防災対策実行所

JR志津川駅

志津川小学校

志津川高校

合同庁舎

消防署

現:さんさん商店街

震災後の南三陸町志津川地区

2011.3.19 撮影

自然の家

戸倉地区波伝谷

戸倉中学校

南三陸ホテル観光

新漁港

旧漁港

町役場防災対策実行所

JR志津川駅

志津川小学校

志津川高校

合同庁舎

消防署

現:さんさん商店街

震災後の南三陸町志津川地区

南三陸町中心部の比較写真

震災前



震災後





震災後のロビーの様子

朝晩欠かさず行ったロビーの様子

情報の掲示



ミーティングの様子



『情報』の大切さ



判断・行動の基準となる



(株)阿部長商店 気仙沼工場



(株)阿部長商店 かつおセンター

水は4か月もの間 断水



みんな命の水を確保することに苦心した。

2011.4.27

断水の環境の中、
町内で初のレストランの営業再開





給水車による水の支援がスタート
被災者した住民へ大浴場を開放



第2次避難所 説明会

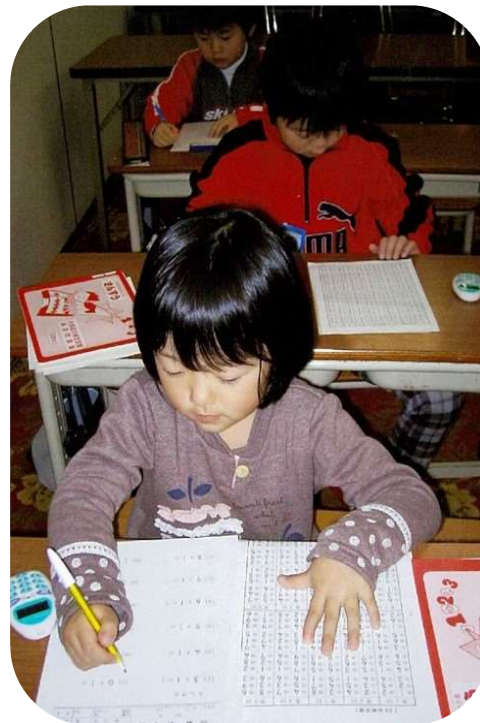


図書コーナー 開設



学習支援てらこや

館内でのそろばん教室



2011年から開始し
現在も50名以上が学びを継続している



館内でのイベントの様子

2年間で600回以上イベントを開催





ロビーイベント開催

海外の方々との交流



南三陸^{てん}店まっぷの取り組み（2013年～）

被災後、町の中心部から離れた場所に「点在」し、苦戦を強いられているお店を応援するマップ。マップを片手に「転々」と町内を巡ってもらうという試み。



後に「南三陸てん店まっぷ」活用による地域経済再生と創造への取り組みを評価され「第1回観光王国みやぎ おもてなし大賞」「第4回ジャパン・ツーリズム・アワード 地域部門入賞」を受賞している。



地域経済の活性化と観光振興のために



南三陸キラキラ丼

- 2008年の宮城県初のディステーションキャンペーンをきっかけに南三陸町を盛り上げたいという思いから当館の女将の発案で生まれました。
- その後南三陸町を訪れた人たちに地元のおいしい食材をもっと手軽に楽しんでもらえるようにと、町内の飲食店に呼びかけました。そして、それが「食で街おこし」となり、南三陸町の各飲食店でそれぞれのお店の個性を生かした四季折々の「南三陸キラキラ丼」が提供される様になりました。



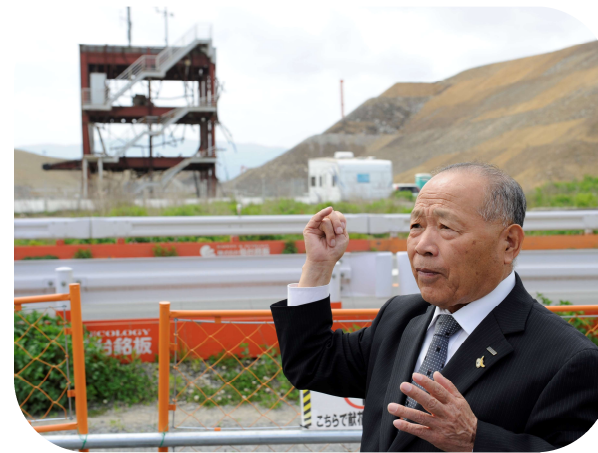
ミシンワークショップMINA-TANチャームの取り組み

ホテルから有名デザイナーと町民との橋渡しをし
住民の就労・自立支援のビジネスモデルを実現

ひとつひとつ手作りのチャームを6,000体以上販売
全国有名デパート（三越伊勢丹・高島屋等）インターネットでも展開



震災を風化させないための語り部バス



個人・団体を含め
(2019.8月現在)

35万人

以上の方々をご案内

第2回「観光王国みやぎおもてなし大賞」特別奨励賞受賞

第4回「富県みやぎグランプリ」地域産業革新部門賞受賞

第3回「ジャパン・ツーリズム・アワード」大賞受賞

第14回「マニフェスト大賞」最優秀コミュニケーション戦略賞受賞

次世代に向けての震災学習・自然学習

平成27年度
青少年の体験活動推進企業表彰
審査委員会奨励賞受賞

自社所有の山を
「海に見える命の森」として整備

防災と減災・自然を学ぶ
学習プログラムを提案

国内の小・中・高/
大学までの教育旅行
学生団体
(2019.11月現在)
700校
以上を受け入れ





震災伝承施設「高野会館」(南三陸町)



震災伝承施設「**命のらせん階段**」(気仙沼市)

全国被災地語り部シンポジウム（2016・2018）・東北被災地語り部フォーラム開催（2017・2019）



4年間で全国から累計1,500名以上が参加

